

御意見を踏まえた今後の進め方等について

【ワーキンググループ（以下「WG」と表記）の設置についてのご意見のまとめ】

＜WGを設けるべき＞

- ・WGで論点整理、素案の作成を行い、関係者会議で議論する。
(WGの数や分野分けについては、1～10個まで様々な意見があった。)

＜WGを設けるべきではない＞

- ・基本的に関係者会議で議論すべき。特定の分野において、ウェイトが大きいなど、問題が生じた場合に検討すればよい。
- ・関係者会議の趣旨を踏まえ、多様な関係者で議論すべきであり、委員を分割するWGで議論すべきではなく、関係者会議の回数や時間を延ばして対応する。必要に応じ、関係者会議での検討前に、少人数で議論を整理するための場はあってもよい。

【事務局案】

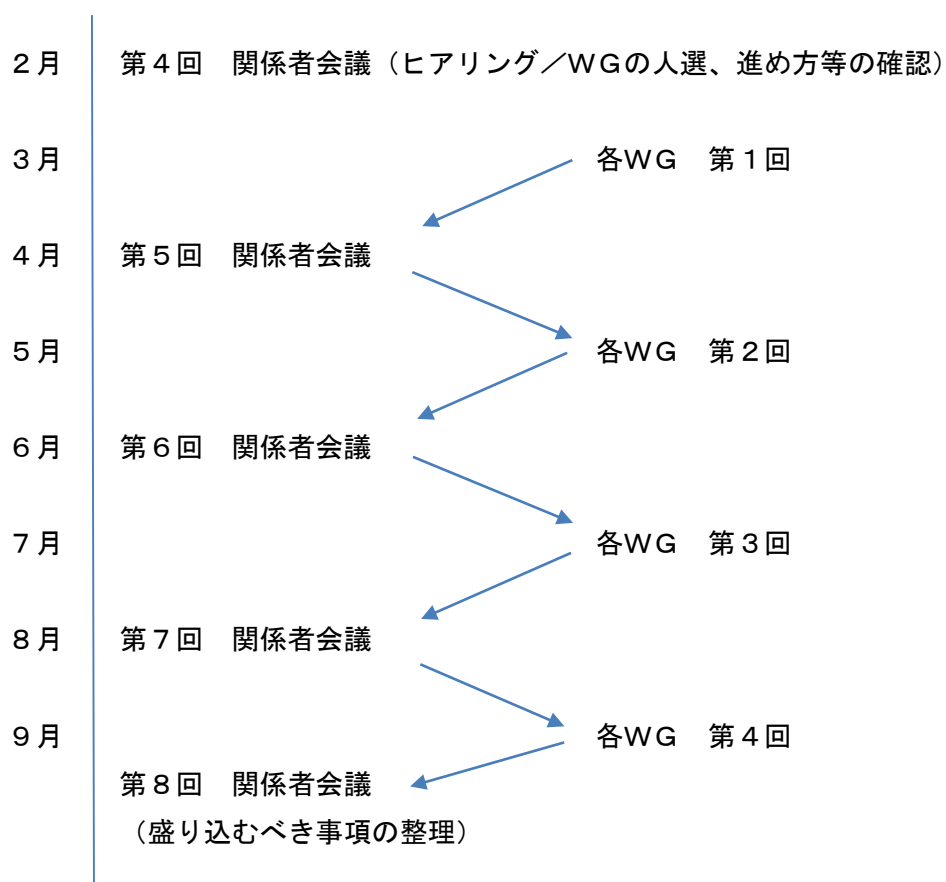
- 計画の議論は、多様な関係者からなる関係者会議で行うべきである。
- 一方で、議論の効率性に鑑み、ある程度の論点整理や、素案を作成するWGが必要ではないか。
- 大きく2つのグループに分けてWGを設け、それぞれのWGでの整理や素案をもとに、関係者会議で再度議論を行うこととしてはどうか。
- 「人材の確保等」「調査研究の推進等」は各項目において検討を要する内容であるので、いずれかのWGに入れることはせず、双方のWGで必要に応じ検討を行う。

(グループ分け案)

- ①「教育の振興等」「不適切な飲酒の誘引の防止」「アルコール健康障害に関連して飲酒運転等をした者に対する指導等」「相談支援等(※)」「民間団体の活動に対する支援(※)」
- ②「健康診断及び保健指導」「アルコール健康障害に係る医療の充実等」「社会復帰の支援」

- ※ 「相談支援等」「民間団体の活動に対する支援」については、単独で議論するよりも、各項目との関係において検討を要する内容であるので、関係者会議において議論する方がよいのではないかと。

(今後の開催イメージ)



- ※ 関係者会議は、2か月に1回の開催とし、第〇・〇曜日と固定して開催
- ※ 各WGでの検討状況は、次の関係者会議に報告し、関係者会議の意見を反映させる。
- ※ WGの開催回数は目安であり、各WGごとに必要に応じ開催